

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日東富士製粉株式会社
コード番号 2003 URL <http://www.nittofuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤 和威

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 松本 正

TEL 03-3553-8781

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	14,023	1.5	847	△7.1	945	△6.9	619	20.4
21年3月期第1四半期	13,812	—	912	—	1,014	—	514	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	13.50	—
21年3月期第1四半期	11.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	36,064	20,260	56.2	441.24
21年3月期	36,077	19,772	54.8	430.58

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 20,260百万円 21年3月期 19,772百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		3.00	—	4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	27,000	△3.2	820	△22.9	930	△22.7	590	16.6	12.85
通期	53,400	△5.8	1,570	△26.3	1,810	△23.2	1,160	△3.7	25.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 46,923,646株 21年3月期 46,923,646株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,006,216株 21年3月期 1,003,876株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 45,918,693株 21年3月期第1四半期 45,940,204株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点での予測数値であり、将来の様々な要因により変動する場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当社グループの主力である「製粉及び食品業」につきましては、本年4月1日から外国産小麦の政府売渡価格が平均14.8%引き下げられたことに伴い、5月11日出荷分から業務用小麦粉販売価格の改定を行いました。当第1四半期の経営成績は、主力の小麦粉は価格改定の影響はあったものの、積極的な販売活動に支えられ、前年並みの販売額が確保できたこと、ふすまの値下がりによる減収はありましたが、ミックス粉の販売が順調に推移したことに加え、エンジニアリング部門の収入が大幅に増加したことから売上高は前年同期比若干増加しました。また、エンジニアリング部門の工事原価など売上原価が増加したこと、退職給付費用など一部販売管理費等が増加したため、営業利益は前年同期間比減少しました。

「外食事業」の(株)さわやか(12月決算のため1~3月分を連結)につきましては、ケンタッキーフライドチキンの売上が好調であったことから、前年同期間比売上高及び営業利益は共に増加しました。

「その他事業」の日東富士運輸(株)につきましては、連結対象となる運賃収入は減少しましたが、燃料費の値下がり等により営業費用が減少したため、営業利益は前年同期間比増加しました。

以上の結果、当社グループの第1四半期業績は、売上高140億2千3百万円(前年同期比1.5%増)、経常利益9億4千5百万円(前年同期比6.9%減)となりましたが、減損損失等の減少により、四半期純利益6億1千9百万円(前年同期比20.4%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の財政状態は、前連結会計年度末比で総資産は現金及び預金の増加と受取手形及び売掛金の減少でほぼ相殺され1千3百万円の減少となりました。純資産は利益剰余金の増加等により4億8千8百万円増加となり、自己資本比率は1.4%増加いたしました。

当第1四半期末の現金及び現金同等物は、32億8千1百万円となり、前連結会計年度末より6億8千2百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権及びたな卸資産の減少等により、11億4千3百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、2億7千8百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により、1億8千3百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月30日に公表致しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

退職給付会計における数理計算上の差異については、従来、その発生年度より5年による按分額を当該年数にわたって処理しておりましたが、当連結会計年度以降に発生する数理計算上の差異については、発生翌年度より5年による按分額を当該年数にわたって処理する方法に変更しております。

この変更は、当連結会計年度から企業会計基準第19号「『退職給付に係る会計基準』の一部改正(その3)」が適用されるのを契機に、親会社との会計方針の統一を図る目的によるものであります。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結会計期間の損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,361	2,678
受取手形及び売掛金	9,017	9,550
商品及び製品	2,334	2,298
原材料及び貯蔵品	1,459	1,708
その他	981	866
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	17,138	17,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,590	3,649
機械装置及び運搬具(純額)	3,199	3,319
土地	4,219	4,219
その他(純額)	254	270
有形固定資産合計	11,264	11,458
無形固定資産		
のれん	7	8
その他	527	535
無形固定資産合計	535	544
投資その他の資産		
投資有価証券	5,817	5,661
その他	1,406	1,428
貸倒引当金	△98	△101
投資その他の資産合計	7,125	6,988
固定資産合計	18,925	18,991
資産合計	36,064	36,077

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,256	2,285
短期借入金	3,400	4,102
未払法人税等	245	372
賞与引当金	209	438
役員賞与引当金	6	37
その他	1,506	1,616
流動負債合計	7,624	8,854
固定負債		
長期借入金	5,550	4,800
退職給付引当金	447	437
役員退職慰労引当金	167	190
負ののれん	807	840
その他	1,206	1,182
固定負債合計	8,179	7,450
負債合計	15,803	16,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,049
利益剰余金	12,960	12,570
自己株式	△245	△244
株主資本合計	19,264	18,875
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	995	896
繰延ヘッジ損益	△0	—
評価・換算差額等合計	995	896
純資産合計	20,260	19,772
負債純資産合計	36,064	36,077

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	13,812	14,023
売上原価	10,676	10,950
売上総利益	3,135	3,073
販売費及び一般管理費		
販売手数料	200	212
販売運賃	535	522
貸倒引当金繰入額	0	0
給料及び手当	467	455
賞与引当金繰入額	112	112
役員賞与引当金繰入額	7	6
退職給付引当金繰入額	28	60
役員退職慰労引当金繰入額	9	6
その他	860	848
販売費及び一般管理費合計	2,222	2,225
営業利益	912	847
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	51	54
負ののれん償却額	32	32
持分法による投資利益	—	9
その他	54	38
営業外収益合計	139	135
営業外費用		
支払利息	32	35
その他	4	2
営業外費用合計	36	37
経常利益	1,014	945
特別利益		
固定資産売却益	0	3
親会社株式売却益	19	—
貸倒引当金戻入額	0	2
特別利益合計	20	5
特別損失		
固定資産除却損	17	4
減損損失	74	—
店舗閉鎖損失	20	8
投資有価証券評価損	—	4
その他	2	2
特別損失合計	114	20
税金等調整前四半期純利益	921	930
法人税、住民税及び事業税	264	238
法人税等調整額	141	72
法人税等合計	406	311
四半期純利益	514	619

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	921	930
減価償却費	292	283
減損損失	74	—
のれん償却額	1	0
負ののれん償却額	△32	△32
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△206	△229
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△40	9
受取利息及び受取配当金	△52	△55
支払利息	32	35
持分法による投資損益 (△は益)	—	△9
親会社株式売却益	△19	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△3
固定資産除却損	17	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△587	532
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,396	213
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△109	△267
仕入債務の増減額 (△は減少)	11	△28
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△61	134
その他	△27	△42
小計	△1,186	1,472
利息及び配当金の受取額	52	71
利息の支払額	△32	△35
法人税等の支払額	△976	△365
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,142	1,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
親会社株式の売却による収入	19	—
有形固定資産の取得による支出	△147	△325
有形固定資産の売却による収入	1	3
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
差入保証金の回収による収入	31	20
その他	△3	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	△278
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,300	△900
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△28	△52
配当金の支払額	△275	△229
自己株式の取得による支出	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,994	△183
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△238	682
現金及び現金同等物の期首残高	2,078	2,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,839	3,281

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	製粉及び食品業	外食事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,152	1,586	72	13,812	—	13,812
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	557	559	(559)	—
計	12,153	1,586	630	14,371	(559)	13,812
営業利益又は営業損失(△)	927	△27	5	905	6	912

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	製粉及び食品業	外食事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	12,325	1,632	65	14,023	—	14,023
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	587	589	(589)	—
計	12,327	1,632	653	14,613	(589)	14,023
営業利益	674	106	53	834	13	847

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。